

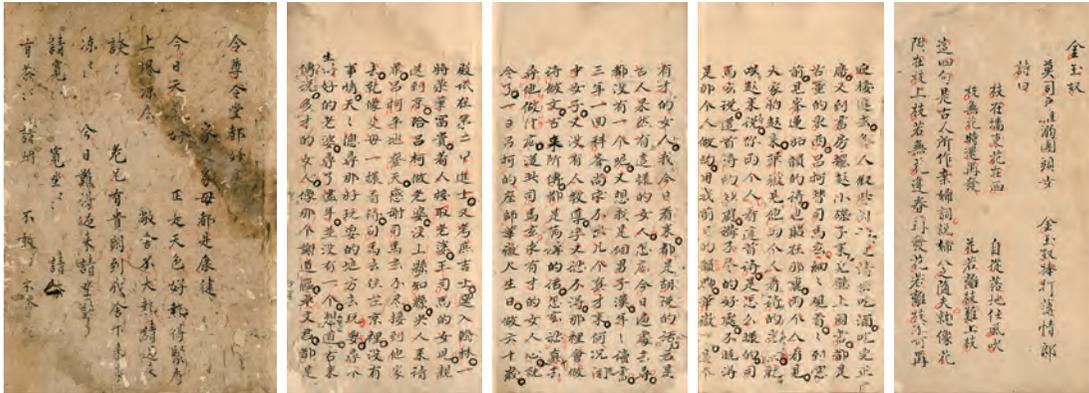
あがたの森書房

Agatanomori Books

〒606-8417 京都府京都市左京区浄土寺西田町15-6

TEL: 075-708-2965 / FAX: 075-708-2264

E-mail: agatanomorishobo@gmail.com



1 琉球官話教本三種 3冊

¥1,650,000

江戸中～後期写 【状態】一部虫損裏打（文字欠損あり）、浸

唐通事養成のために、琉球で用いられていた中国官話の教本と見られる写本3冊。すべての語句の四隅に朱で声点が記されている。詳細は以下の通り。

- 1、「琉球漂流記（仮題） 江戸中期頃写か、13丁。
- 2、「人中画」 江戸後期頃写か、65丁、首尾欠。読み仮名、送り仮名、音韻に関する注記などが記される。
- 3、「金玉奴」 江戸後期頃写か、19丁。



2 文鳳抄 卷第4 1冊

¥330,000

康永2年写 菅原為長撰 列帖装 46丁 蔵書印「炳脚珍藏旧槩古鈔之記」 奥書「寫本云／文永五年初秋七月五日俊国朝臣以本一點畢／康永元年七月十七日／於〔訳〕照坊書寫畢／則一校了」

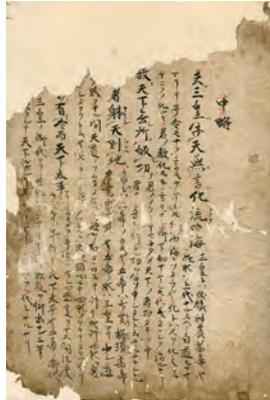
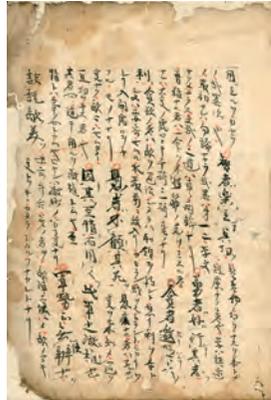
13.7×20㎝ 【状態】虫損（文字欠損あり）、丁の片面裏打ち



3 新刊全相二十四孝選 1冊

¥308,000

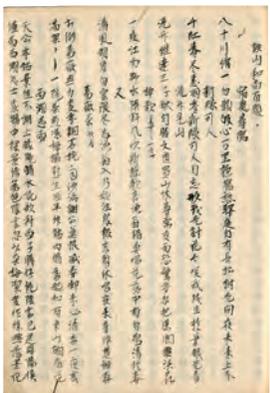
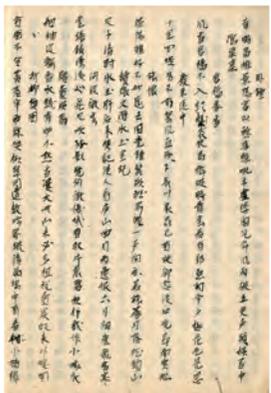
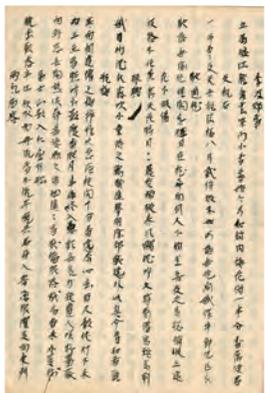
室町後期写 郭居敬撰 12丁 18.8×18.6㎝ 【状態】虫損（文字欠損あり）



4 三略かな抄 1冊

¥275,000

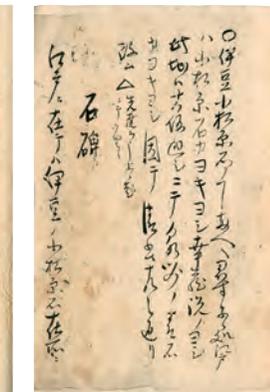
室町期写 17丁 30×21.8糎 中・下略(上略欠) 【状態】浸、6丁に欠損あり(裏打ち補修)



5 詩集 1冊

¥99,000

江戸初期写 43丁 表紙「道隣房」 卷末取得識語「誤入佛門二十秋 一朝改服向東州 富貴高名非吾願 学業不就死不休 大福田寺内□□ 道隣房 明暦貳年九月廿五日求之」 掲題は外題による 26.5×20糎 【状態】少虫損



6 梅村載筆 1冊

¥77,000

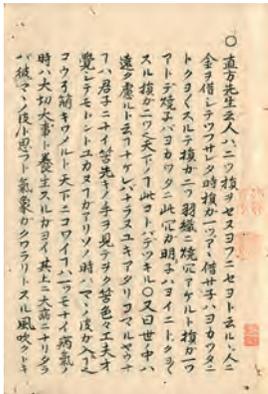
享保21年伊勢貞方写 林道春撰 39丁 朱書入 蔵書印「平出氏書室記」、「篁園文庫」 27.8×19.4糎 【状態】虫損(文字欠損あり)

7 碑石考 1冊

¥88,000

安永7年頃筆 19丁 26.5×19糎 【状態】虫損(裏打ち補修)

内容から稲葉黙齋の自筆稿本か。文中、「二礼ノ内再考舛」、「批喪儀略」、「喪儀略草稿」、「改訂喪儀略草稿」、「謹対」の5つの見出しを掲げる。



8 諸先輩国字筆記 4冊 ￥88,000

文化14年高澤定省写 54, 52, 47, 16丁
27.5×19.5種 【状態】虫損

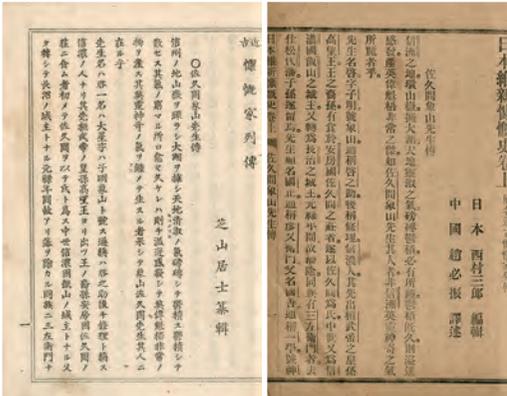
佐藤直方、三宅尚斎、浅見綱斎、久米訂斎、稲葉迂斎、黙斎等の講義聞書。



9 大家商量集講義 4冊 ￥66,000

明和4年高村有木写 89, 90, 67, 46丁
23.8×17種 【状態】虫損

延享4年開講の山崎闇斎「大家商量集」に関する講義聞書。講者不明。



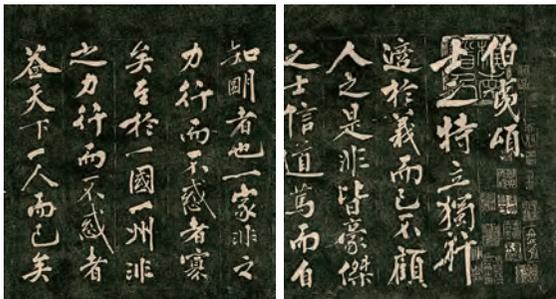
10 日本維新概史 2冊 ￥77,000

西村三郎(芝山)編 趙必振譯 廣智書局版
光緒28年刊 底本となった「近古慷慨家列伝」付属
19.2×12.5種 【状態】ヤケ、表紙傷



11 東語入門 2冊 ￥165,000

陳天麒輯譯 光緒21年序 26.5×15.5種
【状態】表紙傷、浸



12 伯夷頌 1巻 ￥132,000

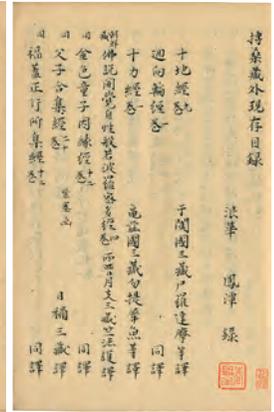
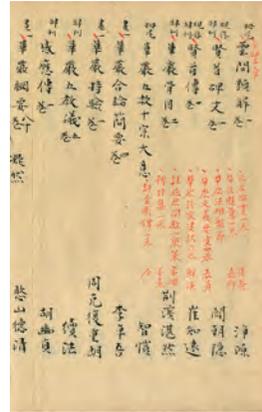
慶應3年山田有裕跋 31.5×360種
【状態】少虫損

天保年間に浦添王子より島津吉彬に贈られた范文正公真蹟「伯夷頌」を、慶応3年に薩摩藩で模刻したもの。



13 日本外史 12巻6冊 ￥110,000

頼山陽撰 石柄樞序 光緒元年粵東硃花書屋重梓
20×12.6種 【状態】1巻表紙・最終丁欠



14 橋園指語 4巻1冊 ¥154,000

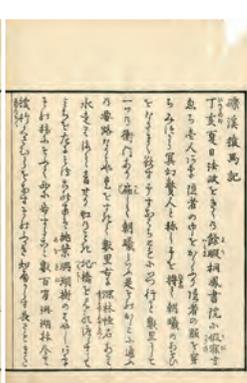
15 扶桑蔵外現存目録 1冊 ¥198,000

江戸後期写 墨化老人撰 121丁 27.7×20㎝
蔵書印「渡辺千秋清観」他

明治30年写 鳳潭編 44丁 島田蕃根旧蔵
44丁 23.7×16㎝

「磔溪猿馬記」の著者、専修寺十九世円祥による造園に関する著述。

中国渡来の大蔵経に著録のない、日本にのみ伝存する古佚仏典の目録。旧蔵者による書名の追記がある。

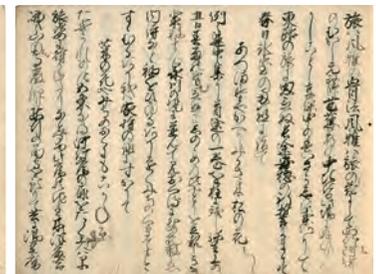


16 磔溪猿馬記 1冊 ¥242,000

墨化道人撰 余宜楼蔵板 文政11年序刊 26.5×19㎝ 【状態】虫損裏打(文字欠損あり)

仙人に誘われ、縮小化した身体で自家の庭園を巡るという趣向の寓話集。著者の墨化道人は、真宗高田派の総本山専修寺十九世円祥。

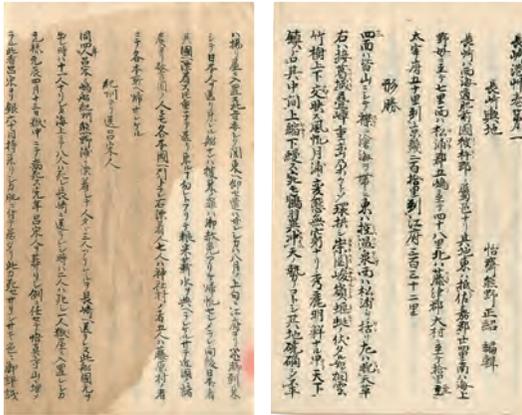
An allegorical tale written by a high-ranking monk in 1828. It has the conceit of a man being guided by an immortal and touring his own garden in a drastically miniaturized body; there, ants are likened to black-robed monks, and dragonflies to celestial maidens.



17 しのぶ摺 3巻1冊 ¥154,000

江戸中～後期写 松井元泰撰 14.5×19.5㎝ 【状態】虫損(文字欠損あり)

古梅園長江(松井元泰)が、享保13年に「奥の細道」にならい奥州などを巡った俳諧紀行文。



18 長崎港草 14卷附拾遺 5冊 ￥132,000

江戸後期写 熊野正紹編 寛政4年序
24.5×16.5種 【状態】浸、紙質劣化、最終巻の後表紙・巻末に傷

異国人の往来や交易を中心に長崎の変遷を記した地誌。第15巻に替り「長崎港草拾遺巻第一」（餅田集義編）が挿入されている。



19 仁風集覧 1冊 ￥77,000

平塚瓢齋編 村上勘兵衛他版 慶応3年刊 袋付
26×18種

大火や高インフレに見舞われた幕末期の京都における諸色値段一覧、民間施行者の姓名や住所の一覧を載せる。



20 能州羽咋郡塵濱村清兵衛漂流之口書 1巻 ￥77,000

江戸後期写 19×1680種

天保3年、フィリピンのバタン島に漂流した能州羽咋郡塵濱村の清兵衛らの口上書の写し。巻末に漂民らの所持品の一覧を付す。



21 島原の乱関連書状 3通 ￥110,000

寛永頃筆 明市郎右衛門（明石市郎右衛門か、宛先不明）書状1通、平野傳左衛門宛、辻金左衛門書状2通 32.5×48種

福岡藩主黒田高政の家臣らの書状で、いずれも島原の乱について触れる。辻金左衛門書状では、近々「有馬ノ御せんさく」が始まるようなので、自分の戦働きについて証言するよう依頼している。



22 西島平兵衛宛呉北諸書簡 4通

卷子装 17×268種 【状態】虫損（文字欠損あり）、浸

一通は、西島氏の知人である東夢亭よりたびたび著書の患投を受けているのでお礼として進物を差し上げたとい述べている。別の一通は、大阪を襲った地震（安政南海地震か）の被害状況について伝えている。



￥77,000



23 深海善右衛門文書 一括

¥385,000

丹波亀山の庄屋で、幕末の勤王家でもあった深海善右衛門（号鑑水）に関する文書140余点。多くが善右衛門に宛てられた書状類で、京大坂の政治情勢を探らせた情報通信を多く交えるほか、梁川星巖6通（うち往信5通）、頼支峰14通、神尾山金輪寺の住職で、頼家をはじめ多くの勤王活動家と交流を持った大橋黙仙3通を含む。



24 平戸藩松浦（有田）家文書 一括

¥352,000

平戸藩の家臣で、御城使なども務めた松浦（有田）家の文書140余点。主に江戸後期から明治初期までの、松浦舎人、典膳、典三代にわたる記録で、奉書、達書、願書などの書状類、勤務日誌、勤め方に関する大量の書付や覚書を含むほか、藩主の江戸参勤や長崎出役に随行した際の日記なども含まれる。有田家は元禄以降、主家より戴いた「松浦」の姓を併称していたものと思われる。



25 解良家文書 一括 ¥396,000

村上藩牧ヶ花村の庄屋であり、良寛の支援者として知られる解良家の家蔵文書55点。解良直樹という人物の書や詠草が主であるが、「良寛禅師奇話」の著者である解良栄重や、橘守部、伊庭時言、大江春平らの書や詩文を交える。また良寛の署名のある詠草一葉を含む。



26 大太坊之図 1巻

¥1,760,000

橋本秀峰画 江戸後期筆 紙本 28×950糎

日本各地に伝承の残る巨人「だいだらぼうし」を描いた奇想の図巻。橋本秀峰は鳥取藩士で、狩野探淵に師事した御用絵師。表装に鳥取藩池田家の定紋である三葉葵があしらわれていることから、本巻は主家への献上品と見られる。

A fantastical picture scroll depicting the legendary giant "Daidaraboshi", whose tales linger across Japan. People enjoying a boat trip were swallowed by a colossal fish. When they saw the light of day again, a huge giant appeared in front of them...



27 立花砂物図 1巻

¥330,000

大住院以信撰 延宝6年刊か 木版手彩色 33×610糎 【状態】部分的に破れ(裏打ち補修)

「立花砂物図」2巻91図のうち、19図を収録する。



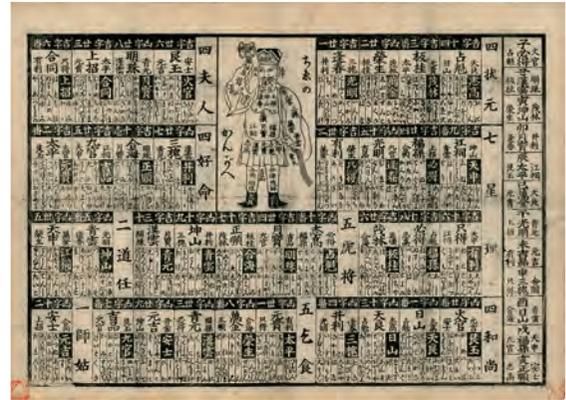
28 寶招録 1冊

¥77,000

明治初期頃刊 18丁 24.5×16㎝

【状態】改装

幕末期に中国から伝来し、横浜や長崎で流行した「チーハー」という賭け事に関する指南書。序文と巻末の一覧図2丁を欠く。書名は書き題箋による。



29 ちゑのかんがへ 1枚

¥110,000

幕末～明治初期刊 31×42.5㎝

「チーハー」に関する刷物。



30 小林永濯画稿 10枚

¥440,000

明治前期筆

33×48から134×61㎝

「鹿児島軍記」等の西南戦争浮世絵、「美人愛猫図」、また日本の神話に取材した絵画の下絵など10枚。



31 古裂帖 1帖

¥132,000

江戸後期製 29×20.5㎝

更紗、金欄、緞子、蜀紅錦など162葉貼付。



32 古渡更紗 1帖

¥88,000

38.5×27㎝

和更紗など30葉貼付。「千種の色・別巻」(大正12年刊)の底本。